



5つの秘薬（飛躍）

校長 市川美紀子

「ホー ホケキョ」と、昨年よりも上手に鳴いているウグイスの声を聴きながら、桜の木を見上げると、満開の桜。正に咲き誇るとはこのことと、見入ってしまいます。

平成26年度、緑中学校は全校生徒68名と職員24名でスタートを切りました。

学校の至る所に掲示されている学校教育目標「誠 朗 韌」は、すっかり皆の中に浸透し、その存在感を増しているように感じます。それもそのはず、生徒向けの月間カレンダーや生徒会の月間目標等、事あるごとに職員も生徒もその意味するところを引用し、示した結果であると思います。

今、振り返りますと、着任1年目の平成23年度には、教育基本法改正等で明確になった教育の理念を踏まえ、学校教育目標の検討会議を発足させて皆で熱く議論を交わしました。その当時の熱気が甦ってまいります。

子ども達には、生涯を通じて自己を見つめ、自分にとっても他にとっても善いことを、各人の個性をもって実践していく態度の育成・・・つまり、自分にとってより良い人生を自分の力で紡いでいくための土台を築くゼロ地点として、今を認識してほしいと考えました。

学校教育目標

「誠」 誠実に学び、高い志をもつ生徒に育てる

「朗」 共に支え合う、清らかで人間性豊かな生徒に育てる

「韌」 未来を切り拓く、しなやかでたくましい心と体を育てる

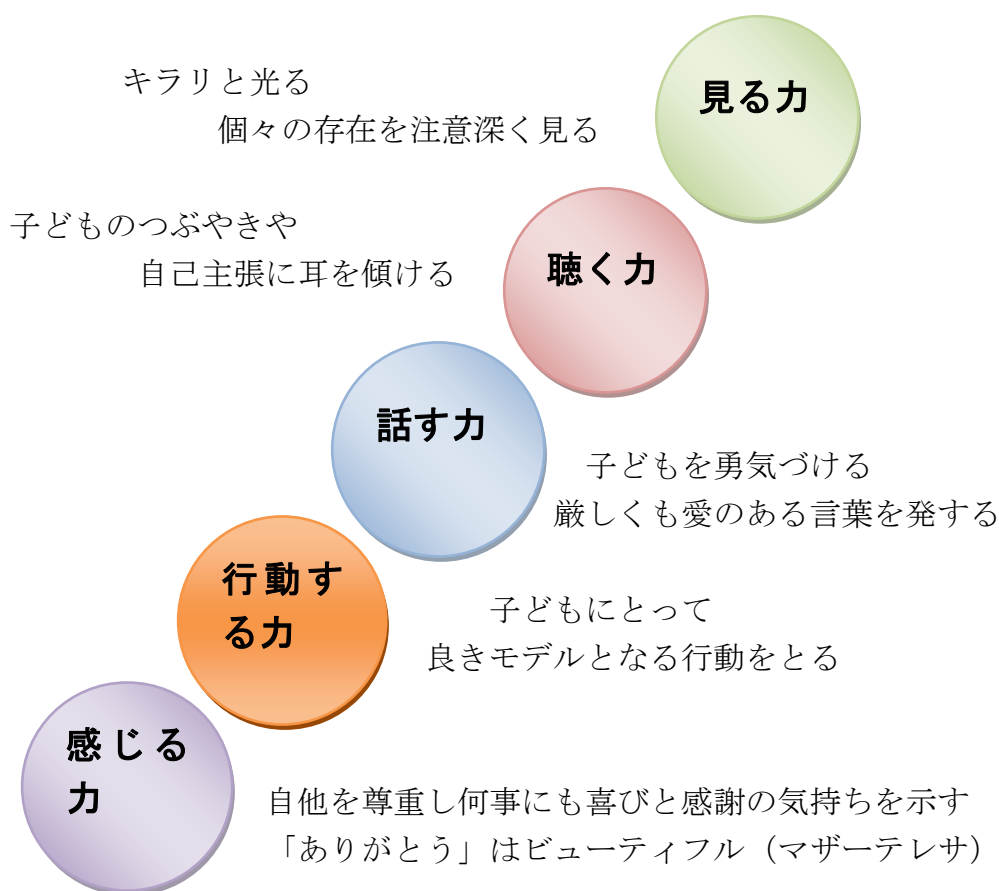
学校スローガン

Be cheerful ! （明瞭であれ、快活であれ）

この学校教育目標を実現させるために、組織としての縦糸とチーム力としての横糸をしっかりと紡いでいきたいと考えております。

「対話する学校」～「今、ここ～体験過程の保証」～「コミットする組織」と歩んできた3年間でしたが、皆で積み上げてきた成果は大分骨太になってきたのではと思います。ですから、義務教育の9年間で単級で過ごす環境にある子ども達に、やっと、進級の新鮮さや成長への刺激を与えることができる学級経営に踏み込むことが可能となりました。

人を育てる上で「4つの薬」とも言われる「見る力」「聴く力」「話す力」「行動する力」に加え「感じる力」で5つ。5つの秘薬を正しく使い、子どもたちも私たちも飛躍の年となることを願っています。



また、本校が「教育の心」を追求してきた途上に出会った、「いのちを大切に
にする心を育む教育」の推進校としての取り組みも私たちの助けとなりました。
自分をディスカウントすることなく自己肯定感を高め、自分にできることを喜
びの心をもって行う。それが自己有用感をも引き出すとしたら、自分の存在意
義を心から尊重できる。学校教育目標が目指すところでした。自己を見つめる
ことを毎日の習慣とする「自己内省の時間」は朝読書同様、本校の欠かせない
活動になりました。

子ども達は、学校、家庭、地域社会での様々な学びをとおして、夢や希望は一人一人の選択と行動にかかっているのだということを学んでいます。「変えられないことを受け止める静けさと、変えられることを変えていく勇気と、その二つを見極める知恵」をもって、自分の人生を紡いでいくことでしょう。

神奈川県唯一の村、清川村が有する美しい自然や心豊かな人に生まれ成長した子どもたちを前に、私は、このような地で教育に携わることへの期待と喜びが全ての原動力となっています。小規模校の利点と課題の整理を的確に行い、私たち一人ひとりが、あらゆることへの可能性を秘めた子どもたちを心から敬い、よき導き手となって、惜しみなく個々の教育への情熱を発揮できることを改めて実感しております。

桜は桜、梅は梅。一人一人の良さを伸ばし育てることを保護者、地域の皆様、村立幼稚園、同小学校とのますますの連携をもって一步、一步、確実に歩を進めてまいります。

どうぞ、よろしくお願い申し上げます。